

領収書等添付一覧表

(令和5(2023)年度5月～3月分)

会派名 自治研究会

支出項目	要請・陳情活動費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	支払先
5-1	R6.3.27	東京柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望	20,890円	JR東日本ほか
5-2		以下空欄		
5-3				
5-4				
5-5				
5-6				
5-7				
5-8				
5-9				
5-10				
5-11				
5-15				
計			20,890円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

会派長	経理責任者
布施 学	山崎 智仁

政務活動費

令和6年4月30日

氏名 布施 学

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
3月26日	旅費	19,210	JR乗車券代金 (柏崎—東京、ゆき指定席かえり自由席)
3月27日	旅費	180	東京メトロ乗車券代金（東京—霞ヶ関）
3月27日	旅費	1,500	日当旅費雑費
合 計		20,890	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	20,890	
	（返金額）		
（備考） 3月27日 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望 参加者：布施 学			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☒ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所費	整理番号 （項目別）
		5 - 1

会派名 自治研究会

整理番号 5 - 1

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
⑤ 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費			
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄				

領 収 証

2024年 3月26日

布施 学 様

金19,210円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

柏崎801 No.000014

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

東京メトロ

領 収 書

・ご利用ありがとうございます。
・この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ￥180

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2024年03月27日
時刻 13時14分伝票番号: 16750
東京地下鉄株式会社

地 東京駅 券O1発行

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

会派長
布施 学

政務活動費

令和6年4月30日

自治研究会

氏 名 布施 学

政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和6年3月27日 (水) ～ 令和6年3月27日 (水)	
1	日 時	3 / 2 7 14:00 ～ 3 / 2 7 15:00
	用 務	経済産業省 資源エネルギー庁訪問
	出張先	経済産業省 資源エネルギー庁 (東京都千代田区霞が関1-3-1)
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	3 / 2 7 15:30 ～ 3 / 2 7 16:00
	用 務	東京電力ホールディングス株式会社本社訪問
	出張先	東京電力ホールディングス株式会社 (東京都千代田区内幸町1-1-3)
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日

令和6年4月30日

会 派 名	自治研究会
報告者氏名	布施 学
種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	経済産業省 資源エネルギー庁 訪問
日 時	令和6年3月27日 (水) 14:00~15:00
場 所 (会場)	経済産業省 資源エネルギー庁 (東京都千代田区霞が関1-3-1)
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概 要	柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。 【山田 仁 資源エネルギー庁 政策統括調整官】 2050年カーボンニュートラル実現に向けて原子力発電は欠かせない。令和4年以来、東日本エリアは電力需給ひっ迫が2回あり、政府による節電要請を行ってきた。原子力発電所が再稼働している西日本エリアに比べ、東日本エリアでは厳しい状況が続いている。東日本エリアの電力を強靱化するためには、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が必要である。 令和6年能登半島地震を経ても、国の原子力防災指針の大筋は変わらない。新規制基準や避難計画に対するわかりやすい啓発、立地地域の経済効果を上げる取組を、内閣府をはじめとする他部署と連携しながら推進したい。 東京電力HD (株) に対しては引き続き安全性向上に取り組み、信頼回復に努めることを求めている。
所 感 等	請願の趣旨である「国の新規制基準に適合すると判断された号機について、一日も早い運転再開」を実現するには、より強い国の働きかけとUPZ域内の周辺自治体への丁寧な説明が必要であり、立地自治体が置かれている状況、切実な願意を伝えることができた。 柏崎刈羽原子力発電所は地元で電力供給していないものの、再稼働により電力需給のひっ迫を緩和し、東日本エリア全体の電気料金低減、エネルギー価格・物価高騰の抑制につながる。こうしたことも含めて、日本が置かれている切実な状況、再稼働によるメリットを、新潟県全体で理解・共有できるよう、国として「わかりやすい啓発と確実な」避難計画をお願いしたい。

出張報告

報告日

令和6年4月30日

会 派 名	自治研究会
報告者氏名	布施 学
種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
日 時	令和6年3月27日 (水) 15:30~16:30
場 所 (会場)	東京電力ホールディングス株式会社 (東京都千代田区内幸町 1-1-3)
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概 要	柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を賛成多数で採択したことを報告し、安全性向上と信頼回復に向けた取組みの推進を要望した。 【小早川 智明 代表執行役社長】 立地地域において原子力発電所が存在することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力供給）には課題が多い。 まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの建設も決定した。 東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めていく。 
所 感 等	柏崎刈羽原子力発電所の安全対策への理解促進、社員異動に伴う経済効果や地域貢献、地元雇用や社員の消費活動の奨励、ミスやトラブルの防止とマスコミ対応やPR方法等について、率直な意見交換を行った。 東京電力HD (株) としても、柏崎・刈羽地域に根付き、地域経済の活性化、地元への貢献をさらに進めて共存共栄を図りたい、との意向を確認することができた。 実際に地域貢献活動として荒浜の海岸道路の飛砂の除去等も地域住民と連携して行っている。 再稼働に向けた今後のプロセスには、より一層の丁寧さが求められる。国策を担う発電事業者として本来の役割を果たしていただけるよう、ガバナンスの強化、ミスの再発防止等に尽力いただきたい

会派長	経理責任者
布施 学 	山崎 智仁 

政務活動費

令和6年3月21日

自治研究会

氏 名 布施 学 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和6年3月27日(水) ～ 令和6年3月27日(水)	
用 務	1	経済産業省 資源エネルギー庁訪問
	2	東京電力ホールディングス株式会社本社訪問
	3	
	4	
出 張 先	1	経済産業省 資源エネルギー庁（東京都千代田区霞が関1-3-1）
	2	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町1-1-3）
	3	
	4	
調 査 又 は 要 望 項 目 ※研修会、各種会 議は記入不要	1	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
	2	〃
	3	
	4	
そ の 他	柏崎の風、公明党、民社友愛、柏盛クラブとの合同での訪問、要望。	

添付書類

- ・調査研究（行政視察含む）、陳情・要請活動の場合は行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等（写し）

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
3/27	柏崎 発 霞が関 着	東京都千代田区	資源エネルギー 庁・東京電力HD本 社訪問		

☐ 前泊必要 (理由:

☐ 後泊必要 (理由:

2 必要経費

- ・ 交通費 20,300 円 × 1 人
- ・ 宿泊費 円 × 人
- ・ 夕食代・旅費雑費 1,500 円 × 1 人

エネ研 視察行程表

自治研究会

行 先		東京都千代田区	
期 日		令和6年3月27日 (水)	
27日 (水)	信越線	上越新幹線とき314号	大手町 東京メトロ
	柏崎駅 ⇒	長岡駅 ⇒	東京駅 ⇒ 霞ヶ関駅
	9:54	10:25	12:28
		10:49	(徒歩10分) 13:21
	東京メトロ		
	霞ヶ関駅 ⇒	東京駅 ⇒	長岡駅 ⇒ 柏崎駅
	17:00		

※エネ庁入口13:45集合

・ 14:00～資源エネルギー庁

・ 15:30～東京電力HD本社
(エネ研 26名)